



なんこく



エンコウ祭り

田園の初夏、前浜・久枝の後川筋うしろがわでは、小・中学生の子どもたちが主役になって、水難除けの「エンコウ祭り」が盛大に行われている（毎年6月第1土曜日）。

エンコウとはカッパ、またはカッパによく似た妖怪のことで、水のシーズン前に、エンコウの住む後川を清掃して清めた後、男の子たちが刈り集めたヨシやショウブの葉で、集落ごとの橋のたもとにお社を作り、ちようちんを飾る。エンコウの好物であるキノウリやお酒などを供え、「どうか水の事故にあわないように」とエンコウにお願いをするのがこの祭りである。

川辺に夕やみが迫るころになると、お社やその周辺のちようちんに灯がともり、子どもも大人もお社に祈願し、その後花火を打ち上げ楽しく過ごす。かつては県内の各地区で行われていたが次第にさびれてしまい、今はこの後川筋だけで引き継がれている。

『南国の歴史を歩く』から（南国市教育委員会 発行）

- | | | |
|---------------|-------|-----|
| 6月議会市政報告 | | ②~③ |
| 防災・災害シーズンに備えて | | ④~⑤ |
| 人権・中心市街地活性化 | | ⑥~⑦ |
| カメラリポート | | ⑧~⑨ |
| みんなの広場 | | ⑩ |
| お知らせ | | ⑪~⑱ |